

お知らせします 平成12年度

特別会計予算

4月号で一般会計予算をお知らせしました。町の予算は、一般会計のほか、特別会計として国民健康保険等6事業会計から成っています。なお、今年度から介護保険特別会計が加わりました。これらの特別会計についてそれぞれお知らせします。

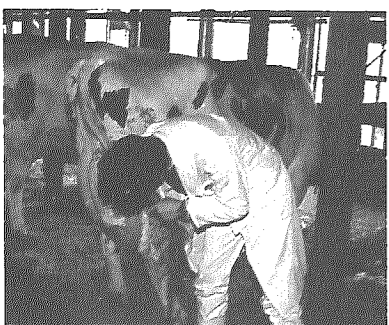
家畜診療所

1,595万円

(11年度1,672万円)

前年度比4.6%減

家畜診療所特別会計予算は、対前年比4.6%減となる1,595万円となりました。運営に関しては、新潟中央農業共済組合、亀田郷みなみ農協、横越町酪農組合からの分担金と町からの負担金、および診療収入を財源としています。町の畜産は、酪農と養豚であり、乳牛538頭、肉豚1,441頭が飼養されています。



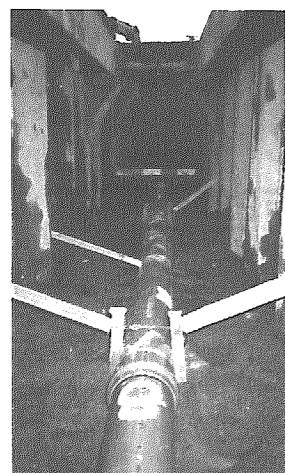
下水道事業

8億5,400万円

(11年度8億3,100万円)

前年度比2.8%増

下水道事業特別会計予算は、対前年度比2.8%増の8億5,400万円となりました。主な内訳としては、工事費に3億9,700万円、補償費に2億6,000万円、借入金の返済に2億8,600万円、流域処理場建設負担金に1,800万円、汚水処理費・維持管理費に7,100万円です。横越町では、平成13年度末に



水道事業

2億5,610万円

(11年度2億8,380万円)

前年度比9.8%減

水道事業会計予算は、対前年度比9.8%減の2億5,610万円となりました。これは小杉地区下水道工事に伴う配水管布設工事が今年度で終了するためです。今年度の水需要は、対前年比0.4%増の144.0万m³と見込んでいます。これは、下水道の普及や住宅の増加により、一般家庭用はある程度増量は見

込まれますが、昨年同様、工場用、営業用の増量は期待できない状況にあります。水の安全かつ安定した供給を図るため、浄水場（新潟市との共同施設）の適正な運営管理を図るとともに、老朽化した石綿管の布設替えや配水管の改良に努めます。



介護保険

4億2,600万円

(11年度なし)

皆増

介護保険制度は、21世紀の高齢化社会において家族介護問題等の解決を図るため、国民の共同連帯の理念に基づき、給付と負担の関係が明確な社会保険方式により、社会全体で介護を支える新しいしくみとしてスタートした制度です。介護保険では、40歳以上の現役世代から保険料負担を求め、第三者機関である「介護認定審

査会」において要介護認定という厳密な手続きを経て、要介護度が決定され、サービスが開始されます。町の介護保険特別会計予算は、介護サービスの給付水準を定める介護保険事業計画により、それぞれのサービス量や保険料を設定して、4億2,600万円の予算規模となりました。船出したばかりの介護保険

は、介護認定の公平性や自立者への対応など、様々な課題がありますが、補助事業の有効な活用と従来からの一般福祉政策を組み入れ、事業を推進します。介護保険の健全運営に皆さまのご理解とご協力をお願いします。



老人保健

7億8,346万円

(11年度10億1,400万円)

前年度比22.7%減

老人保健特別会計予算は、対前年度比22.7%減の7億8,346万円になりました。介護保険制度の施行により、医療費の一部が介護保険特別会計へ移行するために、減額予算となるものです。しかしながら、医療費自体は対象者の増加（今年度は1,453名と見込む）も相まって、増加が見込まれます。

老人保健会計は、医療保険の拠出金（皆さんが払っている保険料から）と国及び県の負担金、町からの繰入金（税金から）で運営されています。医療費が増えるということは、皆さんの負担が増えることにつながります。健康的な生活を心がけて、医療費の増大に歯止めをかけましょう。

国民健康保険

5億7,116万円

(11年度5億5,617万円)

前年度比2.7%増

国民健康保険とは、職場の健康保険などに加入していない人が加入する保険で、病気をしたときに経済的な心配がなく、安心して医療が受けられる制度です。この制度を支えているのがみなさんの納める保険税で、医療費にあてる大切な財源となっています。国民健康保険特別会計予算は、対前年度比2.7%増の5億7,116万円になりました。

これは、介護保険制度施行に伴い、老人保健医療費拠出金は減少したものの、保険給付費の増と新規に介護納付金が予算計上されたためです。今年度の町内の国保加入者は3,125人（うち退職者被保険者366人）と見込んでいます。近年加入者の高齢化が進む中、医療技術の高度化に伴う医療費の増加などから、国保の運

営は年々厳しさを増しています。医療費の節減のためには病気の早期発見、早期治療が欠かせません。そのため国保では、人間ドックの経費を助成していただきます。加入者の健康保持と国保財政の健全化のため、医療費の適正化と保険料率の向上について、ご理解とご協力をお願いします。